

平成 29 年 7 月 21 日  
 こども家庭部 保育課  
 こども家庭部 保育計画調整課  
 こども家庭部 こども施策企画課

### 平成 29 年度における保育所待機児童対策について

平成 29 年 4 月の待機児童数は、昨年度の 166 人から大幅に減少し、48 人であった。とりわけ、1 歳児の待機児童数は 122 人から 6 人となり、ほぼ解消された。

それでも待機児童が発生した要因は、地域における需要と供給のミスマッチが生じたことによる。そこで平成 30 年 4 月に待機児童解消を図るため、平成 29 年度の待機児童対策を下記のとおり実施する。

#### 記

##### 1 待機児童対策の内容

今後の更なる需要の増加が見込まれるとともに、地域における需給のミスマッチに対応するため、平成 29 年度の待機児童対策は、合計 700 人の定員枠の拡大を図ることとし、年齢や地域の特性に応じて、重点的な対策を実施する。

		当初計画	新規拡大分	合計
定員枠の拡大		140人※1	560人	700人
内 訳	保育施設の整備等	140人※2 認可保育所 1か所 小規模保育事業 3か所	400人 認可保育所 4か所 小規模保育事業 5か所	540人 認可保育所 5か所 小規模保育事業 8か所
	保育ママの拡大配置	—	30人	30人
	3歳児1年保育の導入※3	—	80人	80人
	既存施設の定員増	—	50人	50人

※1…1歳児1年保育の定員を含んでいない。

※2…区立豊玉保育園改築による定員増を含む。

※3…地域偏在が著しくなると予想される、練馬総合福祉事務所管内地区については、区内のほかの地域に比べ、私立幼稚園が少ないため、練馬こども園による3歳以降の定員拡大が難しく、また、保育所整備の適地の確保も難しいという特性がある。このため、当該地域においては保育所の新規整備とともに、区立幼稚園を活用したバス送迎による3歳児1年保育を導入する。

<地区別・年齢別内訳>

(人)

地区	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
練馬	30	50	55	150	70	70	425
光が丘	15	30	25	15	5	5	95
石神井	40	65	40	10	10	5	170
大泉	5	5	0	0	0	0	10
計	90	150	120	175	85	80	700

さらに、昨年度から実施している1歳児1年保育を継続し、練馬こども園の拡大に取り組む。

2 区民への周知

6月21日号のねりま区報、区ホームページにより、区民へ周知する。

(参考)

練馬こども園の受入れ実績（平成29年5月1日時点）

16園で長時間預り保育を827人が利用している（定員1,135人）。

3歳児	4歳児	5歳児	計
257	289	281	827